



## 7 ITSのためデジタル地図に関する国際標準化を推進

最近路車間等の協調システムの標準化の動きが急になり、LDM（ローカルダイナミックマップ）等地図関係の標準化テーマが増えています。当協会特別研究員がITSのためのデータベース技術の標準化を行うISOのワーキンググループの議長を務めるなど、国際標準化活動を推進しています。



チューリヒで開催されたISO/TC204/WG18の様子

## 8 G空間EXPOでデジタル道路地図の将来像を模索するシンポジウムを開催

2010年9月に産学官の協力で開催された地理空間情報の利用促進を目的としたG空間EXPOにおいて、デジタル道路地図の将来像を議論するシンポジウムを開催しました。（同封資料を参照）また、本省道路局とカーナビ地図業界の協力で、デジタル道路地図のあるべき姿に関する懇話会も開始しています。



シンポジウムにおけるパネルディスカッション

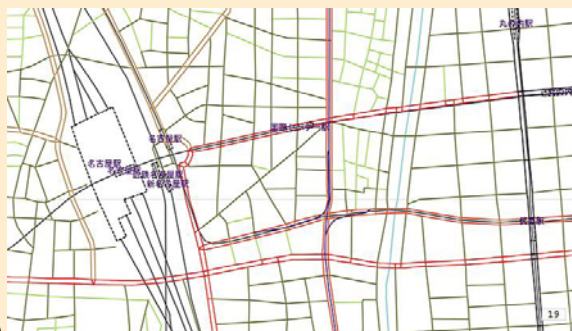
### デジタル道路地図



官民が共通に使えるよう、交差点(ノード)の番号や道路区間(リンク)番号を設定

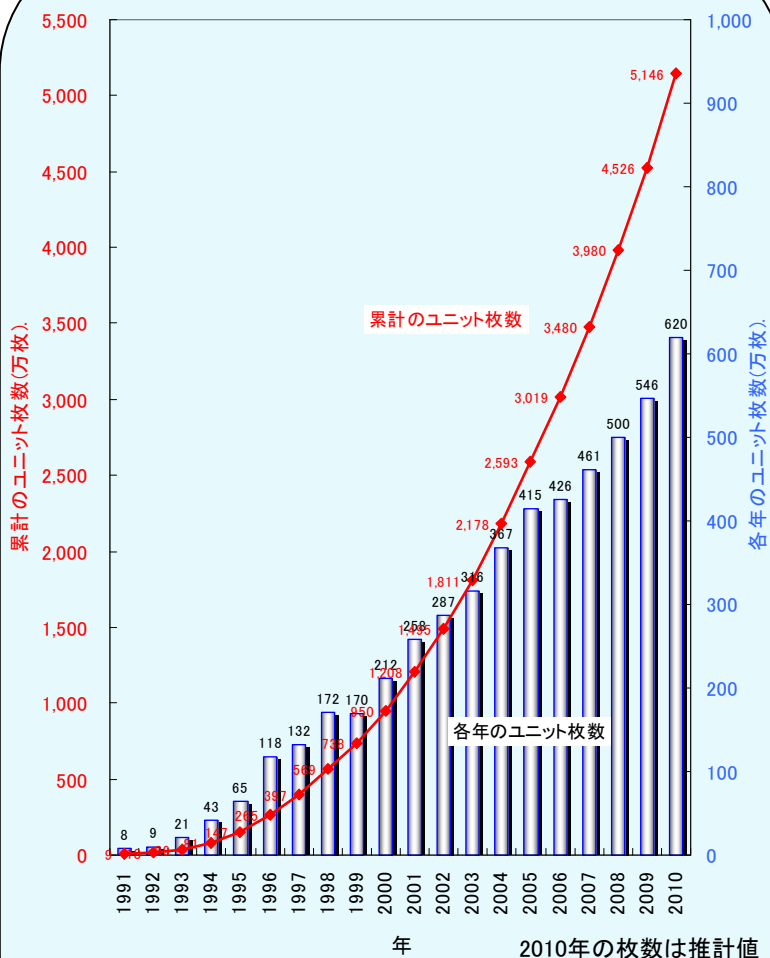
	道路総延長	リンク本数
基本道路	約39万km	約131万本
細道路	約50万km	約351万本
全道路	約88万km	約482万本

2010年4月現在  
 基本道路: 都道府県道以上+幅員5.5m以上の道路  
 細道路: 基本道路以外で幅員3m以上の道路



名古屋駅周辺のデジタル道路地図

### デジタル道路地図利用量の推移



利用量は当協会のデジタル道路地図を使用してカーナビ等に利用されたユニット(CD-ROM等)の枚数であり、年々増加